

心の復興音楽基金 様

2011年11月 兵庫県立芸術文化センター楽団部：山口昭彦
(経費報告：2012年1月)

東日本大震災 被災地訪問（アウトリーチ）実施報告

下記の通り実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

1 訪問の経緯

阪神・淡路大震災からの心の復興、文化の復興のシンボルとして2005年10月に誕生した「兵庫県立芸術文化センター」と「兵庫芸術文化センター管弦楽団」は、国内外の自然災害に際してさまざまな支援活動を展開してきました。

東日本大震災に際しても、同じ被災地（兵庫県）として以下の取組みを実施しています。

- ① センター内外での募金活動
- ② 芸術監督・佐渡裕の被災地訪問（8月：岩手県・福島県）、楽団メンバーの訪問（7月：仙台市）
- ③ チャリティコンサート「さど☆まさし 題名のある音楽会」の開催（9月30日）。同コンサートで集まった義援金をもとに、宮城県内の県立高校（気仙沼高校、石巻好文館高校）への楽器寄贈

*このたび、上記③で楽器を寄贈した高校を訪問し、生徒（吹奏楽部・マンドリン部）との交流会を開催しました。

2 訪問内容

【参加者】兵庫芸術文化センター管弦楽団（アンサンブル7人）

ヴァイオリン：ウーイ・カイアン（マレーシア出身）、野村祥子、山本ちひろ（兵庫県出身）

ヴァイオリン：太田玲奈、チェロ：長谷川弘樹（福島県出身）、コントラバス：谷口拓史

ホルン：熊井 優

副館長：藤原正治、（楽団部）山口・山内・生田

<宮城県気仙沼高等学校>助成対象

- ① 日時・場所：2011年11月11日（金）16:30～18:45 大講義室（宮城県気仙沼市常楽130番地）
- ② 内容：吹奏楽部・マンドリン部（60人）との交流会
 - ・ビデオメッセージ上映（芸術監督：佐渡裕2分） ・サイン贈呈（「さだ まさし」さん、佐渡裕）
 - ・楽団ミニコンサート（40分）
 - 「ディベルティメント」「プリンクプランク」「川の流れるように」「上を向いて歩こう」ほか
 - ・吹奏楽部&マンドリン部ミニコンサート（40分） 等（生徒との交流）

<宮城県石巻好文館高等学校>助成対象外

- ① 日時・場所：2011年11月12日（土）14:00～16:15 練習室（宮城県石巻市貞山3-4-1）
② 内容：吹奏楽部・マンドリン部（50人）との交流会（気仙沼高校と同内容）

3 経費報告（気仙沼高校分のみ助成申請：2012年1月支払確定）

内容	金額
① JR・私鉄交通費	67,620円（下記A～C）×奏者7人=473,340円
A 阪急西宮北口駅 ⇒ JR一ノ関駅（11月11日）23,420円	
・ 阪急西宮北口駅～梅田駅 260円	
・ JR大阪駅～JR一ノ関駅 23,160円（乗車券12,290円＋特急券10,870円）	
B JR一ノ関駅 ⇒ JR仙台駅（11日宿泊下車）⇒ 阪急西宮北口駅（12日）25,200円	
・ JR乗車券12,290円（一ノ関駅～仙台駅（途中下車可能・仙台宿泊）～大阪駅）	
・ JR特急券12,650円（一ノ関駅～仙台駅2,300円＋仙台駅～新大阪駅10,350円）	
・ 阪急梅田駅～西宮北口駅 260円	
C 宿泊（11～12日：仙台泊）	定額支給9,500円×2泊=19,000円
② 楽器運搬車（コントラバス・チェロほか：西宮北口 ⇒ 両校）	347,000円

★その他の経費（宮城県内の移動用バス経費、事務局スタッフ旅費）は自己負担。

経費（①～②）820,340円×1/2（気仙沼高校分）=410,170円

4 交流風景 ＜気仙沼高等学校＞



当センター管弦楽団メンバーによるミニコンサート。(阪神・淡路大震災を経験した) 同じ被災地兵庫県から来た若いプロ奏者が (高校生の) お兄さん・お姉さんとして、音楽のプレゼント！！



今度は気仙沼高校 (マンドリン部) から“素晴らしい演奏”のお返しがありました！！



そして吹奏学部の“感動的な演奏”に、会場からは大きな拍手が！！

♪双方のミニコンサートによる“楽しい交流会”でした。音楽の力によって、同じ被災地 (兵庫) から“復興への想い”が伝わることを願っています！！

＜石巻好文館高等学校＞



会場には寄贈された楽器 & サインが、さっそく飾られました！
楽団メンバーの演奏に聴き入る高校生！



マンドリン部&吹奏楽部の生徒も、素晴らしい演奏を聴かせてくれました！！



演奏会終了後は、楽団メンバーによる「スペシャル・クリニック」！！

♪音楽を通じて“同じ被災地同士”の心の交流（架け橋）が生まれました。

「兵庫が復興したように、自分たちも頑張ります」との生徒の言葉が、参加者の胸に熱く響いた“素敵な交流会”でした♪